

三井アウトレットパーク岡崎



緑豊かな公園型施設「オカザキマーケット」

地元食材の限定メニューそろそろ

愛知県初の本格的なアウトレット施設「三井アウトレットパーク岡崎」が11月4日にランドオープンするのに先立ち、運営会社の三井不動産は16日、施設内の公園型施設「OKAZAKI MARKET(オカザキマーケット)」を報道陣に公開した。同施設には、スポーツやイベントが開催できるステージや人工芝エリアが整備され、食関連など23店舗が出店。地元食材を使った限定メニューや、当地メニューのコラボ商品がそろそろ。

(三河・田中弥生)

オカザキマーケットは、東海地方のアウトレットで最大級の緑地広場を有する公園型施設。地元の名店や特産品を扱う食関連店舗が集まる「オカザキおいしいマーケット」のほか、ステージや人工芝エリア、ドッグラン、子ども向け遊具、噴水なども整備する。三井不動産の担当者は「ブランドショッピングだけでなく、緑豊かな空間でさまざまな体験を提供したい」と語る。

中核となるのが、地元の特産品や食材を扱う「オカザキおいしいマーケット」だ。同日行われた試食会では、県内8店舗目の出店となる「パンの工房」が豊橋市の「ヤマサのちくわ」を使った限定商品のちくわパンや、岡崎商業高校の生徒が考案したマシユマロ入りチョコクロワッサンなどを提供した。行列ができる人気唐揚げ専門店「暴れん坊チキン」は、地元の八丁味噌(みそ)とマヨネーズを合わせた特製タレを考案した。

また、お豆腐工房いしかわ(本社高浜市)は、自社商品を販売する新店「風土市場まめぞう」を出店するほか、地域の菓子や食材、B級グルメのコラボ商品などを提供する「風土市場うまいもんや」をプロデュースする。高浜市の郷土料理である「高浜こりめし」と、豊川市が町おこしで力を入れる「豊川いなり」とのコラボ商品や、瀬戸市で市民に親しまれているしょうゆベースの「瀬戸焼きそば」と高浜とりめしのコラボ商品などを提供する。

同社営業本部マーケティング部の原久美子部長は「道の駅のように、近隣の人にも日常使いしてほしい。県外の人にも地元のおいしいものをアピールしたい。今後、地元の生産者とのコラボ商品の開発にも力を入れ、地域活性化に貢献したい」と話した。

食充実の公園型施設



地元の特産品や食材のコラボで生まれた限定商品